

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2024年2月実施／まつぼっくり子ども教室

回答率100%

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	備考	改善対策等
施設・設備の整備	1	利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	5		1		
	2	指導員の配置人数は適切であるか	3	1	2		成年人員は十分に満たしているが、1人ひとりの子に丁寧に関わるために、もう少し人員を増やす努力をします
	3	子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	5	1			施設が古いので、修繕が必要な箇所が気になるため、予算との兼ね合いでできるときに修繕したいと思います
	4	子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	5	1			
活動の全体状況の整備	5	虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	6				
	6	防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	2	4			防火・防災関係の研修にも力を入れていきます。
	7	感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	4	2			年度途中採用のアルバイトやボランティアも含め、研修に参加してもらう体制を取ります。
	8	個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	6				
	9	子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	6				
	10	食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	6				
	11	子どもの活動の記録を書いているか	6				
実践的な力量の向上	12	子どものことがわからないと感じたとき、どうしてなのかと考えたり、働きかけて変化をつくりだしたり、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	6				
	13	子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	6				
	14	気持ちの育ち（人格の形成）には、その子固有のテンポがあるということや、子どもの発達には、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	6				
	15	学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	6				
	16	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	6				
	17	会議や研修会を定期的に関いて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	6				
	18	子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	4	2			コロナ禍以降、現地参加で外部研修に参加する機会が減っているので、できるだけ機会を作っていきます。

保護者・関係者との関係づくり	19	保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	6			
	20	保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	6			
	21	保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	5			その機会がない。
	22	苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	5	1		
	23	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	6			

<正規職員への設問>

保護者・関係者との関係づくり	1	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	3			
	2	会報などを定期的に作って、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	3			
	3	保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	2	1		
	4	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	3			
	5	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	3			
	6	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	2	1		学校（先生）によって連携がとれているケースとそうでないケースがある。
	7	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	2	1		
	8	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	2	1		
	9	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	3			

<管理者への設問>

保護者・関係者との関係づくり	1	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	1			
	2	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	1			連絡を取れている事業所とそうでない事業所がある。
	3	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	1			

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2024年2月実施/第2まつぼっくり子ども教室

回答率100%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	備考	改善対策等
施設・設備の整備	1 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	5	1			
	2 指導員の配置人数は適切であるか	2	2	2	・基準では大丈夫でも、重度の子も多い ・産休や体調不良など、仕方の無い状況	
	3 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	6			・ただし、2重玄関外側のガラス戸が壊れているため、カメラは付いているが不安はある。	予算との兼ね合いでできるときに修繕したいと思います。
	4 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	6				
活動の全体状況の整備	5 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	6				
	6 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	3	3			防火・防災関係の研修にも力を入れていきます。
	7 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	5	1			年度途中採用のアルバイトやボランティアも含め、研修に参加してもらい体制を取ります。
	8 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	5	1			個人情報の取り扱いについては、再度徹底します。
	9 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	6				
	10 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	6				
	11 子どもの活動の記録を書いているか	6				
実践的な力量の向上	12 子どものことがわからないと感じたとき、どうしてなのかと考えたり、働きかけて変化をつくりだしたり、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	6				
	13 子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	5		1		
	14 気持ちの育ち（人格の形成）には、その子固有のテンポがあるということや、子どもの発達は、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	6				
	15 学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	5	1			“支援に自信がもてない”スタッフが不安にならないよう、さらにojt、Off-jtを徹底していきます。
	16 子どもの育ちの状況を確かめ、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	5		1		年度途中採用のアルバイトスタッフにも個別支援計画の内容を徹底します。
	17 会議や研修会を定期的に関いて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	6				
	18 子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	4	2			コロナ禍以降、現地参加で外部研修に参加する機会が減っているので、できるだけ機会を作っていきます。

保護者・関係者との関係づくり	19	保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	6			
	20	保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	6			
	21	保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	5	1		
	22	苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	5		1	
	23	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	5		1	

<正規職員への設問>

保護者・関係者との関係づくり	1	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	3			
	2	会報などを定期的に作って、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	3			
	3	保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	3			
	4	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	3			
	5	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	3			
	6	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	2	1		・ケースにより、不十分と感ずることもある。 ・“全て”ではない。 担任による。
	7	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	3			
	8	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	3			
	9	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	3			

<管理者への設問>

保護者・関係者との関係づくり	1	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	1			
	2	障害児相談支援事業所の担当者との連絡を取っているか	1			
	3	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	1			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2024年2月実施／まつぼっくり子ども教室

回答率100%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	ご意見	改善対策等
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1		・広いスペースを用意していただいています。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3		・とてもスキルの高いスタッフが手厚いサポートをしてくださっています。 ・個々の子どもの性格に合わせた対応がとられている。 ・概ね職員の数が適正ではあるが、時々、子どもの数に対して少ないかなと思うときがある。	他のグループとの兼ね合いでスタッフが少なくなることもあります。一方で敢えて少なくすることで、子ども同士の関わりをもたせたいという意図をもってのこともあります。ただし、保護者に不安を与えないように、活動の趣旨をしっかりと説明することを努めます。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3		・車イスや視覚障害のお子さんも活動に参加できていて、環境が整っています。	
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	13			・個々人に対して対応していて、説明も受けています。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか ^(注1)	12	1		・毎回違う場所、活動が多岐に渡っています。 ・外出を主にした活動が活発に行われ、子どもの意見も取り入れられている。	
	⑥ 虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか	13			・はい、どんなときでも話し合いで子どもに向き合ってください。	
	⑦ 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	12	1		・感染症の対策はされていると思うが、他はわからない。	9/1あたりには火事の時の防災訓練として猿江公園、3/11あたりには地震の時の防災訓練としてスカイツリー等、高所に子ども達と行くことで、訓練と変えています。
保護者への説明・関係づくり	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13				
	⑨ 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			・活動の度に詳細な引き継ぎが行われている。 ・親が気づかない子どもの成長も、ちゃんと見ていて伝えてくれます。	
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13			・困ったことなど都度相談し、アドバイスをいただいています。 ・困り事に適時、相談ののってもらいアドバイスをいただいている。 ・困り事を相談すると、一緒に考えて助言してくれるので、助かります。	
	⑪ 保護者会活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13			・情報共有の場が設けられていて、とてもためになることや連絡を受けています。 ・2ヶ月に一度、保護者会が行われてい	
	⑫ 保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	3			苦情などがあった場合に相談できる窓口の周知を徹底すると共に、法人で決められているフローに基づき、対応の体制がきちんと取れるよう、再度徹底します。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを、保護者に対して発信しているか	12	1		・活動内容や感想などの会報を定期的にいただいています。	法人のニュースとは別に事業所独自のおたよりも配布しておりますが、きちんと手元に届くよう、確認します。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	12	1			
満足	⑮ 子どもは通所を楽しみにしているか	12	1		・毎回楽しみに通わせていただいています。 ・とても楽しく通っています。	

年度	⑬	事業所の支援に満足しているか	13		・活動内容もスタッフ、環境、全て申し分ないです。いつもありがとうございます。	
	⑭					

注1 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2024年2月実施／第2まつぼっくり子ども教室

回答率100%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	ご意見	
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	14			・人数も必要かもしれませんが、保護者としては質が何より大事なので、まつぼっくりのスタッフさんは安心です。	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	1			
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	13	1		・とても丁寧に作成されていると思います	高い評価をいただき、ありがとうございます。不十分なところは保護者ときちんと共有できるよう、再度徹底します。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか ^(注1)	14			・いろいろな所へ行き、いろいろな経験をさせてもらっています。苦手なことが減ってきました。 ・子どもたちからの発信も大切に汲み取りながら工夫されていて、ありがたいです。 ・親がなかなかできないような事のたく	
	⑥ 虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか	14			・ものすごく安心して通わせています。	
	⑦ 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	14	1		・緊急時、連絡がとれるよう、事業所の携帯電話があると、もっと安心できると思います。 ・火災、地震についてはわかりません。	・事業所のグータイについては財政的なこともあるのですぐには難しいですが、検討したいと思います。 ・9/1あたりには火事の時の防災訓練として猿江公園、3/11あたりには地震の時の防災訓練としてスカイツリー等、高所に子ども達と行くことで、訓練と変えて
	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
	⑨ 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	14			・丁寧に子どもの話しをしてくれまし、家庭や学校での話しも聞いてもらっているので、共通理解はすごくできていると思います。 ・毎日の引き継ぎで、小さなことでも直接伝え合うことができ、共有できることがありがたいです。 ・とても親切に話しを聞いてくれ、一緒に考え、助言もしてもらえます。 ・面談を希望するとすぐに日程調整して機会を設けてくださり、ありがとうございます。 ・親身になって相談ののってください。 ・保護者同士の関係は良好だと思います。	
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14			・親身になって相談ののってください。 ・保護者同士の関係は良好だと思います。	
保護者への説明・関係づくり	⑪ 保護者会活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14			・保護者の繋がり強く、色々なお話しを聞くことができ、ありがたいです。	
	⑫ 保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		・苦情があるかはわかりませんが、相談等に対しては迅速かつ丁寧に対応してくれます。	苦情などがあった場合に相談できる窓口の周知を徹底すると共に、法人で決められているフローに基づき、対応の体制がきちんと取れるよう、再度徹底します。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを、保護者に対して発信しているか	14				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	13	1		・写真を撮っていただくのはありがたいですが、スタッフの個人スマホでない方が、安心かなと思います。	個人スマホで撮る場合もありますが、スタッフには秘密保持誓約書に基づいてしっかりと指導しております。

満足度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行くことを楽しみにしているかわかりませんが、行ったら楽しんでいるようです。 ・とても楽しみにしています。 	
	⑯	事業所の支援に満足しているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しています。 ・もちろんです。なくてはならない心強い存在です。 ・親子行事も含め色々な所に出かけてくださり、大満足です。 	

注1 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2024年2月 回答率 100%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	備考	対策等
施設・設備の整備	1 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	8	4			
	2 指導員の配置人数は適切であるか	9	2	1	・コロナやインフルなどで少しでも減ってしまうと、厳しい日も多い。 ・法令上は適切だと思うが、足りないと思う。子どもの人数が10人だったら、スタッフは7~8人くらい欲しい。	安全かつ子どもの発達を促せるような場所・スタッフの確保に努める。
	3 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	9	1	2	・損壊や故障などではないが、食器棚のガラス戸などは適宜声かけをしている。 ・トランポリンのハンドル・支柱がグラグラしている。	トランポリンは処分した。危険がないよう、適宜反省会等で出し合うようにしていく。
	4 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	9	1	2	配達の人など、共用部分で会う人には挨拶するようにしている。	
活動の全体状況の整備	5 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	7	4	1	4~7勤務し始めてから、マニュアルを見たり、訓練に参加したりしたことがないため、確認したい。	新しいスタッフを雇用する際に、マニュアルや対策等について伝えるよう、徹底する。また、打ち合わせや研修などで、定期的にスタッフに周知するよう努める。
	6 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	8	3	1	訓練を定期的に行なうことで、子どもだけでなく、スタッフの意識も高くなってきている。	
	7 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	5	4	3		
	8 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	9	3			書類やデータなどの取り扱いに十分注意する。
	9 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	12			活動中にスタッフ間で共有すると共に、反省会で情報共有し、今後の対策を検討している。	
	10 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	12			おやつの保管を分けたり、夕食の材料の成分表を確認したりしている。	
	11 子どもの活動の記録を書いているか	12				
実践的な力量の向上	12 子どものことがわからないと感じたとき、どうしてなのかと考えたり、働きかけて変化をつくりだしたり、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	12			外部の研修会で、他事業所の方に相談し、意見交換を行なった。	
	13 子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	12				
	14 気持ちの育ち（人格の形成）には、その子固有のテンポがあるということや、子どもの発達は、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	12				
	15 学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	12				
	16 子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	11	1			

上	17	会議や研修会を定期的に行い、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	11		1	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートと会場のハイブリッド形式も定着してきて参加しやすく、ありがたいと思う。 ・最近忙しくて、外部の勉強会などに行く時間が取れない。 ・会議や研修会に参加したことがないので、参加したいと思う。 	職員・非常勤スタッフには、内外部研修共に参加を促し、勤務として保障もしているが、今後はアルバイトスタッフにも声をかけをし、研修の機会を広げていきたい。
	18	子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	9	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修会に参加し、区内の事業所の方と活動についてやりとりした。学校の送迎などで会う機会もあり、今後もやりとりをしていきたい。 	

保護者・関係者との関係づくり	19	保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	11	2	汲み取る、察すると言う点で自分は苦手であり、努力が必要だと感じている。	
	20	保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	10	2	学校の活動の状況や様子、行事等、話す機会が多いので、こまめに話している。 ・送迎や様々な連絡をする際に、事務的な連絡にならないよう、意識している	引き続き活動前後の引き継ぎや、電話連絡などの際に、子どもの姿を共有できるよう意識していく。
	21	保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	10	2	悩みまで深刻なことではなくても、ちょっとした愚痴なども積極的に聞きたいと思っているが、登室回数が少なかったりするとなかなか会えない保護者もいるので、気になることがある。	
	22	苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	9	3		
	23	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	7	3	・今年度は参加できていないが、機会があれば参加したい。 ・これまで公開されていなかったが、2024年になって、ようやく学校行事が外部に公開されるようになってきた。来年度は、運動会や学芸会など行きたい。 ・参加したスタッフの様子を聞いたり、保護者から映像を見せていただいたりしている。	コロナ禍は機会がほとんどなかったが、今後は学校行事等への参加を促していきたい。

保護者・関係者との関係づくり	1	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	4			
	2	会報などを定期的に作って、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	4			
	3	保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	4			
	4	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	4		・研修会の際に、保護者同士が集まって、交流が持てるような設定をした。	
	5	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	4			
	6	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	4		・子どもの担任と、送迎の際に情報共有をするよう、意識している。	
	7	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	4			
	8	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	4			
	9	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	4			

<管理者への設問>

者・関係者との関係づくり	1	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	1			
	2	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	1			
	3	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	1			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2024年2月

回答率100%

	チェック項目	はい	わから	いいえ	ご意見	対策等
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		・人数を細かく分けて、遊ぶスペースを作っている。 ・密にならないように工夫してくれていると思う。	安全に、また子どもの発達を促せるよう、場所やスタッフの確保をしっかりとする。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1		・職員は多い方が良い。事故などあってからでは遅いので。 ・子どもに合った指導をしてくれるので良いと思う。 ・手厚く見ていただいているので安心。	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	2	1		2階への階段など、手すりは付けているが、危険のないよう引き続き注意していく。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	16			・子どもの状況をよくみてくださって支援してもらっていると感じる。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16			・毎日、子どものやりたい事を取り入れながらも内容を考えてくださっている。 ・室内も室外も、子どもたちが本当に楽しく過ごせるような様々なプログラムを組んでくれている。 ・今日はどこへ行ったのか、何をしたのかと、毎回引き継ぎを聞くのが楽しみ。 ・活動場所や移動方法など毎回工夫して、子どもが楽しめるようにしてくれている。	
	⑥ 虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか	16			・絶対にありえません。愛に溢れている。 ・信頼している。 ・子どもたちへの愛情をすごく感じる。 ・スタッフを信頼している。(とても子どもをかわいがってくれている姿から)	
	⑦ 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	15	1		・災害時の緊急メールの配信や、伝言ダイヤルの練習、避難訓練などをしてもらっている。 ・小グループで分散して活動しているので、感染症対策だけでなく、全体的に丁寧な配慮願われているように思う。	避難訓練や災害伝言ダイヤル練習、感染症対策等、引き続き日頃から意識して取り組む。
保護者への説明・	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				
	⑨ 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16			・親の我々よりも子どもの事を理解してアトハイスをくださるし、こちらも思っていることを言いやすい環境。 ・思春期特有の心と体の変化に対し、丁寧に寄り添ってもらっている。センシティブな内容だが、全幅の信頼を寄せているので、安心して話ができる。 ・引き継ぎの際に、毎回子どもの様子について伝え合っている。子どもの成長を「以前は～という反応だったが、今日は～だった」等、わかりやすく説明してくれる。 ・学校や家庭でどんな様子で過ごしているかも気にかけてくれる。親と同じように子どものことをしっかり見てもらっている。	
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16			・何かあれば、その都度相談してもらえる。 ・スタッフに相談しやすい雰囲気がある。 ・面談の時間もたくさんとってくれる。いつも保護者の気持ちに寄り添ってくれる。 ・面談に限らず、いつも相談にのってくれるのでありがたい。	

関係づくり	⑪	保護者会活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に開催してもらえる。 ・保護者同士のつながりも大切に考えてくれているのがわかる。 ・伝統のマドレーヌ作りに参加できて嬉しかった。 	
	⑫	保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情はないが、何かあった時にはすぐに対応してもらっている。 ・苦情を言ったことがないので、わからない。 	苦情の窓口を、事業所だけでなく法人内にも設置し、事業所への苦情などに対応できるようにした。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを、保護者に対して発信しているか	16			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	16		<ul style="list-style-type: none"> ・細やかに対応してもらっている。 	
満足度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	16		<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしている。 ・家にいるより通所している方が嬉しいみたいで、休みの日にはすごく不満そうに過ごすくらい、通所が楽しみで仕方ないよう。 ・さくらんぼのある日を毎回楽しみにしている。 ・たいへん楽しみにしているし、心の拠り所としている。あと1年で卒室とはとても言えない。 ・毎日さくらんぼがあるか確認して、一緒になりたいメンバーを言って楽しみに通っている。 ・さくらんぼが子どもは大好き。 ・自分の気持ちを受け止めてくれて、思い切り遊ばせてくれる所だと思っている。大好きな居場所。 ・自分を出せる、自分の居場所だと思っているように、見ていて感じる。 ・子どもにとって、さくらんぼは安心して楽しく過ごせる居場所になっていると感じる。 ・親子共に支援していただいている。 	
	⑯	事業所の支援に満足しているか	16		<ul style="list-style-type: none"> ・限られた環境の中でも、できる限り精一杯の支援をしてもらっていると日々感じている。関わってもらえる事に感謝しかない。 ・外遊びやイベントが多く、満足している。 ・毎日感謝している。長時間子どもたちのために活動し、スタッフが体調を崩さないかと心配。 ・保護者の様子まで気遣ってくれる。支援に支えられている。 ・大変満足している。親子共にさくらんぼなしでは全く違う生活になっていたと思う。これからも変わらず、子どもたち、親たちの支えになってもらえたら嬉しい。 ・この1年で、目に見えて体力が付いたように思う。さくらんぼにたくさん通えたおかげだと思っている。 	